



さんむ 21
おののぎ き
小野崎

まさき き
正喜
議員

教育委員会制度改革について

問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に当たり、首長、教育長の責任が今まで以上に明確化されたが、市長、教育長の見解はどうか。

答 市長 今回の改正により教育長を直接任命する立場に立ちました。このことは、当然、任命に対する責任が出てくると思っております。明確になったことについて高く評価をさせていただきたいと思っております。

答 教育長 教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者として、新教育長が置かれることになりました。これまで教育委員会における責任の所在が、不明確であるというご

スポーツ施設について

問 山武市東京オリンピック・パラリンピックの戦略推進事業のハード事業で改修を予定している陸上競技場だが、その改修内容の詳細はどういうものか。

答 教育部長 走路8コース等のクレイ、サンドを全天候型に舗装。陸上競技に使用する用具の購入、用具等を保管する倉庫等の建設です。

問 市ではどのような新教育長の設置について進める予定になっているのか。

答 市長 嘉瀬教育長の任期がこの6月23日までとなっていることから、平成28年6月、山武市議会第2回定例会に、嘉瀬教育長の再任をお願いし、この時点をもって、新制度に移行したいと考えています。

さらに、陸上競技場の外構整備として、192人が利用できるベンチと、周囲を囲むフェンスを設置する予定です。なお、全天候型舗装については、日本陸上競技連盟が認定する第3種のレベルにする考えです。



整備が計画される成東総合運動公園陸上トラック

問 東京オリンピック・パラリンピックク終了後、どのような使用計画を考えているのか。

答 市長 陸上競技場の施設整備は、東京オリンピックに向けてやらなければならないということになりましたけれども、オリンピックを機会に、子供たちを中心とした市民の運動能力の向上に積極的に取り組んでいこうとしています。競技場ができた段階で、さまざまな使い方を展開

していかなければいけないと考えています。市内にとどまらず、市外の方々にもご参加いただけるような計画をしていきたいと考えています。



学力向上プランについて

問 県では、ちばっ子「学力向上」総合プランを打ち出し、学力の向上を図ろうと事業の推進を図っている。その中で市の役割と現在の取り組み状況はどうか。

答 教育部長 県の施策として、5つの視点からアクションプランが示されていますが、このプランに対する市の役割としては、積極的に参加・研修を積み重ねていくということです。

問 「学力向上」検証プランで、検証協力校、県内15校のうち成東小学校がその1校として指定されているということだが詳細はどうか。

答 教育部長 指定されたこと、先生方の向上ということで、先生方の研究発表や授業公開等を行い、指導力のアップに努めているところです。

